

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

## 11月定例会

平成29年11月8日(水)当所にて、11月定例会を開催した。今回の定例会は、全員参加型だ。会員13名、オブザーバー1名の参加者が口の字形式で着席した。そして「社業紹介」をテーマとし、5分間スピーチを行った。各社の会社概要、その業界を取り巻く環境や現在の特徴が語られ、新しい取り組み等も紹介された。わかりやすくパソコンを用いた説明もあった。参加者はメンバーの社業の歴史や強み、果敢なチャレンジなどを聞き、大いに刺激を受けた。

その後の懇親会では、メンバーの和光大学小林教授が、産学連携活動の一環で作ったケーキやドライフルーツを紹介した。麻生区の伝統野菜「万福寺人参」を使って作ったケーキを試食しながら参加者は、商品ができるまでの話に耳を傾けた。



メンバーによる社業紹介の様子

## 11月分科会

11月2日(木)当所にて、会員6名、和光大学生3名の参加者を得て11月分科会を開催した。今回は、当所麻生支所、相澤支所長が講師を務め、「川崎商工会議所の事業概要について」と題し講演を行った。当会メンバーは川崎商工会議所の会員であることから、改めて当所の概要や事業を知りたいという要望があり行われた。参加者からは魅力的な事業や会員サービスを今後

もっと有効活用したいとの感想があり、当所事業を知らせる良い機会となった。

その後の懇親会では、10月に行った国内視察会（広島県呉市）での話題もあり、大いに盛り上がった。



「川崎商工会議所の事業概要について」講演の様子

## 12月定例会

12月14日(木)12月定例会(忘年会)を開催した。寒風が吹く中、午後6時会員20名、オブザーバー2名が集まった。会場は昨年に引き続き、居酒屋くりや(幸区)。

菅原会長の挨拶、小林副会長の乾杯発声後、和やかに会は始まった。今回は久しぶりに参加する会員もあり、より交流を深めることができた。会半ばには各会員が、1分間スピーチを行い、近況報告や来年に向けた展望を語った。菅原会長からは、同会の30年の歴史を踏まえ、今後さらに会員に喜ばれる会にするという意気込みが語られた。中締めは野見山副会長が務めた。創設期からのメンバーと新しく入ったメンバーが一堂に会し、活気に満ちた有意義な交流となった。



今後の意気込みを語る菅原会長

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191